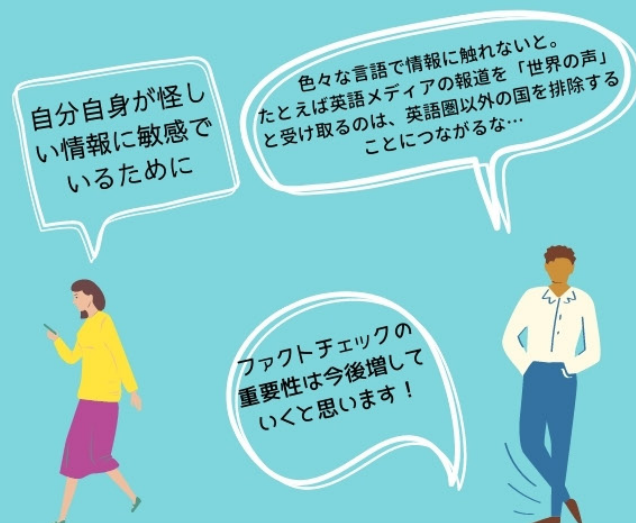


#ファクトチェック

始めて変わったこと・気付いたことは？
～FIJでファクトチェックに取り組む学生の声～

#ファクトチェックとは、社会に広がる情報・ニュースが事実(Fact)に基づいているかどうかを調べて(Check)、正確な情報をみんなで共有しようとする。誤った情報から身を守るために「誰にでもできるコト」です。



誤情報に惑わされない社会へ みんなのファクトチェック

FIJにおけるファクトチェックの活動



怪しい情報の検知・収集



怪しい情報の真偽を調査



メディアに情報提供して
ファクトチェック記事が発行される

これらのプロセスに
学生も参加しています

誤情報に惑わされない社会へ

国際プロジェクトで連携強化中

誤情報は言語、国境を超えて拡散しています。
海外のファクトチェッカーとの連携・調査協力も行っています。



認定NPO法人
ファクトチェック・イニシアティブ
(FIJ) は日本でファクトチェック
の普及活動を行っています。

詳しい活動内容、ご支援は



ちょっと待って！



ほんとうに、正しい情報？
ファクトチェックで見きわめよう



大事なのはわかったけど、なんだか難しそう？

←スマホがあれば今すぐできるファクトチェックへGO!

実例ファクトチェック「東京のPCR検査数 5月19日はたった48人」?

新型コロナウイルスに関するファクトチェック事例を紹介。
一緒に検証作業をしてみましょう!

①社会への影響 背景の把握

拡散状況や広まった理由を確認します。
拡散数：6000回超共有
背景：緊急事態宣言解除を
するかしんないかの瀬戸際で
検査数抑制を疑う声があった

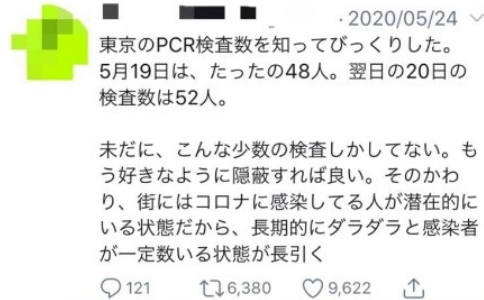
②チェック対象から 検証部分を抽出

ファクトチェックするのは
事実に関わる部分のみ。
検証前に事実と意見を
分ける作業をします。

③根拠に基づいた 検証

拡散している情報の
根拠となる情報を探します。
東京都が一般に感染状況を公開する
「東京都新型コロナウイルス感染症
対策サイト」をみると、
48は東京都が実施した件数でした。
民間委託の実施件数もあわせると
5月19日の正確な検査人数は975人でした。
(注：記事掲載時点と現在はサイトの仕様や集計方法が変わっています。)

5月中旬に拡散したSNS投稿例



事実：「5月19日はたったの48人。20日は52人。」
意見：その他の部分。
「未だに、こんな少数の検査しかしてない。
もう好き勝手に隠蔽すれば良い...」

東京都新型コロナウイルス感染症
対策サイト

結論：誤り

東京都健康安全研究センターによる検査数だけだとその通りだが、東京都の委託によるPCRセンターなどでの検査を含めると「5月19日が975人、20日が712人」である

(InFact 2020.05.31)

ファクトチェックとは
社会に広がる情報やニュースで示されたことが
事実と根拠に基づくか調べて、検証結果を共有すること。
ファクトチェックは誤/偽情報を正しい情報で打ち消します。
FIJは多様な見方をした成果として、
検証可能な一つの結論を提供しています。



実際の記事をみてみよう

(FIJ新型コロナウイルス特設サイト)

FIJ 新型コロナウイルス

URL: <https://fij.info/coronavirus-feature>

誤/偽情報に
惑わされないための
予防策

冷静になる

書いてあることが本当かわからなければ、保留にする。
拡散しない、という選択肢があります。
びっくりする情報や、聞いたことのない情報ほど
注意が必要です。

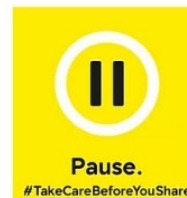
情報をよくみる

事実かな? 印象かな? 証拠が示されていない話は、
事実ではなく推測・意見である可能性があります。
結論よりも根拠に目を向けてみましょう。

多面的にみる

情報元を確認する以外にも
いろいろな検証方法があります。

- 画像を画像検索する一オリジナルの写真か?
- 統計データは軸の単位や集計方法に注意
- 隠れている事実はないか考える
- 複数の情報元がないか探す
- ファクトチェック記事を探してみる



#TakeCareBeforeYouShare
#シェアする前に考えよう

国連は"Pause/ちょっと待って"という
キャンペーンを通して、オンライン上で
投稿などをシェアする前に情報の真偽を
確かめることを呼びかけています。